

特別編 テクノロジー特集

今回の非常食情報は特別編として過去に掲載したマンガを厳選して掲載いたします。

科学技術の進歩とともに、防災面でも多くの課題が解決できるようになりました。より詳しく災害予知ができるようになったり、スマホで詳しい災害や非難に関する情報をいつでも取得できるようになったほか、非常食もおいしく食べられるように進化しています。

書籍「早わかり防災マニュアル」
日本出版制作センターから好評発売中！

- B6 変形判・236 頁
- 定価：本体 1,650 円（税込）

日本出版制作センターの書籍販売サイト
もどうぞご利用ください！
<https://www.center-net.jp/sales>

頼りになる自販機

災害のとき、自動販売機も役に立つことがあるんですよ

へー 飲み物くれるの？

その通り！

・・・といっても機種によるのですが

災害対応型はここに表示があります

停電でも動きます

公園とかで見ることがあるかも

そのほかにも・・・

なんて自販機もあります！

モニターで災害情報をお知らせ

AED付き

海拔を表示
この地帯は
海拔 5m

オール電化住宅はよくない？

ライフラインといえばオール電化住宅は災害のこと考えたらよくないよね？

うへん・・・オール電化も停電や災害を想定しているらしいんですけどね・・・

オール電化にしろガスも使うにしろ**防災対策は必要です！**

電力の復旧は早くても肝心の家が被害を受けたらどうにもなりません！

災害に強い＝備えなくていいじゃないんだなあ

あと、オール電化でなくても電気とつながっているトイレやガス給湯器などは停電で使えなくなることがあるので注意です

高層マンションも停電で水が止まるんだっけ？

ドローンの災害利用

ドローンを災害時に活用する試みも広がっています

多いのは災害現場を空中から撮影する情報収集目的の利用

それから孤立した被災地や避難所に物資を運ぶことも

そのほか 気象予報や通信線の復旧など用途はいろいろあるようです

まだまだ可能性は広がりそうですね！

AIで変わる未来

AI技術で災害現場も変わる？

もちろんですもう少し先の話ですが

たとえば、情報が入り乱れる災害現場もAIが自動的に情報を集約して優先課題を抽出してくれれば・・・

効率的に救助や支援を行うことができたり適切な避難情報を出せるでしょう

ロボットとAIで人命救助や避難所運営もやってくれる日も来るかもなあ

一緒に避難しようって声をかけてくれたり重い荷物を持ってくれたらいいですね

オンライン防災訓練

オンライン授業にオンライン会議、診療、飲み会……

なんでもオンラインになったなあ

防災訓練をオンラインで行う試みも始まっています

防災訓練はリアルでやんなきゃいけないじゃないの？

うーん確かに消火活動や炊き出しや避難経路を歩いてみることは無理ですよ

でもオンラインなら自宅で参加できるので時間の都合をつけやすいというメリットがあります

情報の共有や意見の交換などできる範囲で工夫してやってみようですよ

オンライン会議みたいな感じかな

募金もキャッシュレス

前はよく買い物ついでに小銭を募金してただけですが今はキャッシュレスになって募金もしくなくなったな

大量の硬貨は取扱に手数料がかかるので今は募金もキャッシュレスが歓迎されています

まず気軽にできるのは買い物などで貯めたポイントを寄付する方法です

それから金融機関での振り込み、クレジットカード、コンビニ払い、携帯キャリア決済…など、寄付する先によって手段が選べます

なるほどーこれからは寄付するためにポイントを貯めるのちよさそう

ふるさと納税や暗号資産（ビットコイン等）などで寄付できるケースもあるようです

領収書が発行されれば控除が受けられるので買っ寄付しましょう

ややこしいけどすぐお金が届くのがキャッシュレスの良い所だね